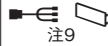



## 〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	取付商品のサイズ	本体の取付方法				オプション ※商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格（税込）です。
				取付キット類			注意事項	
				他社部品手配	型番	主な付属品		
H13/9~H17/8	DA62V系	AMモノラジオ付車 注5	②D		KK-S02FP®	 注9	3,300円	注10,11 12,13
		AM/FMラジオ付車 注6	②D		KK-S22FP®	 注1	3,300円	注2,7,8

(注1) KK-S22FP®には窓口の隙間を埋めるパネル、配線コネクタ（20P）等が同梱されています。

(注2) 純正1Dサイズラジオ+純正1Dポケット付車にトレードイン1D取付けをする場合は、KK-S21FP®（希望小売価格3,300円、税込）で取付けできます。

(注5) スピーカー内蔵のAMモノラジオ付車で、純正ブラケットがL/Rタイプの車種（車両のラジオ用配線は12P）。なお、ダッシュ部にスピーカーが装着されていないため、別途スピーカーの取付けが必要になります。

(注6) AM/FMラジオ付カセットステレオ付車で、純正ブラケットがアングル形状の車種（車両のラジオ用配線は20P）。

(注7) 2Dサイズ一体機を取付ける場合の純正ブラケットへの組付けは、上段側はブラケット最上列の1番目の穴にM-1番穴と、中心線上の5番目の穴にT-3番穴で取付け、下段側は最下列の1番目の穴にM-1番穴で取付ける3点止めになります。

(注8) 1Dサイズを取付ける場合の純正ブラケットへの組付けは、上段側はブラケット最上列の2番目の穴にN-2番穴と、中心線上の5番目の穴にT-3番穴で取付け、下段側は中心線上の1番目と5番目の穴にN-1番穴とT-3番穴で取付けます（但し、上段側の最上列の2番目の穴がN-2番穴取付用の穴（長穴）になっていない場合は、ブラケットの穴を削って長穴にする加工が必要です）。

(注9) KK-S02FP®には窓口の隙間を埋めるパネル、配線コネクタ（12P）等が同梱されています。









(注10) 純正1Dサイズラジオ+純正1Dポケット付車にトレードイン1D取付けをする場合は、KK-S01FP®（希望小売価格3,300円、税込）で取付けできます（但し、KK-S01FP®は品薄につき、在庫切れになる場合があります）。

(注11) 本体が引っ込んで付くため隙間があく取付けになります。また、1Dサイズの場合は上・下段に段差が付き、下段側は片側1点止めになるなどにより、純正ブラケットの加工が必要となります。


(注12) 2Dサイズ一体機を取付ける場合の純正ブラケットへの組付けは、KK-S02FP®を使用する取付けでは奥に引っ込む取付けとなり、クラスター窓口裏面とに約4mmの隙間があります。また、ネジ止めは上段側の2点止めになります（手前寄りに取付けることは可能ですが、その場合はKK-S02FP®のパネルが使用できなくなります。従って、KK-S02FP®を使用して隙間を少なくする取付けを行うには、純正ブラケットに穴を追加加工して取付ける必要があります）。

(注13) 1Dサイズを取付ける場合の純正ブラケットへの組付けは、KK-S01FP®を使用する取付けでは奥に引っ込む取付けとなり、下段側は1点止めで上段よりも2mmさらに引っ込む取付けとなり、上段との間に段差が付きます。従って、クラスター窓口裏面とに上段で約4mm、下段で6mmの隙間があります（手前寄りに取付けることは可能ですが、その場合はKK-S01FP®のパネルが使用できなくなります。従って、KK-S01FP®を使用して隙間を少なくする取付けや、下段側の段差をなくす取付けを行うには、純正ブラケットに穴を追加加工して取付ける必要があります）。

## 〔取付キット類の主な付属品の記号〕

	ダイレクト接続コネクタ		アンテナ変換コネクタ（HFC）
	配線コネクタ （3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー）		アンテナ変換コネクタ（GT）
	配線コネクタ （3電源、フロントスピーカー）		アンテナ変換コネクタ（CE）
	窓口の隙間を埋めるパネル		ステアリングリモコンケーブル、または ステアリングリモコン用ミニプラグ

## 〔オプションの記号〕

	オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。
---	---

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

